

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2022年4月25日提出
【ファンド名】	日興B R I C s 株式ファンド
【発行者名】	日興アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 ステファニー・ドゥルーズ
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂九丁目7番1号
【事務連絡者氏名】	新屋敷 昇
【連絡場所】	東京都港区赤坂九丁目7番1号
【電話番号】	03-6447-6147
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【提出理由】

「日興BRICS株式ファンド」（以下「当ファンド」といいます。）につき、当ファンドの財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項に基づく特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令第29条第2項第12号の規定に従い、本臨時報告書を提出するものです。

2【報告内容】

イ．当該事象の発生年月日

2022年4月13日

ロ．当該事象の内容

ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧の経済制裁やそれに対抗措置をロシアが設けたことにより、取引の規制、モスクワ証券取引所上場銘柄と預託証券の交換の停止、決済機構やSWIFTからの除外による取引後の受渡が行えない状況となったほか、非居住者に対する配当金や売買代金の受取制限などが掛かり、市場でロシア株式の取引が成立しない、および決済が出来ない状況となっています。なお、世界の主要株価指数に関して、MSCIおよびFTSEラッセルは既にロシア株式を除外しています。

以上を勘案し、当ファンドがマザーファンドを通じて実質的に組み入れている換金不能なロシア株式（預託証券含む）の評価価格を2022年4月13日付けで0.0001米ドルとしました。

実質的にゼロ評価とする根拠は以下の通りです。

- ・現時点ではロシア株式の売買が不可能であり、将来の売買可能性についても、ロシア側での外国人への支払い禁止措置がしばらく続くと見込まれるなど、現環境の長期化が回避できないこと。また、ロシアルーブルの日本円への換金の見込みも立っていないこと。
- ・株価について、2022年3月24日にモスクワ証券取引所が再開された後も外国人の売買が制限されていることから、入手している時価が当ファンドでの評価額として妥当と考えられないこと。預託証券についてもGDRは2022年3月3日よりロンドン証券取引所で取引停止となるなど流動性も枯渇しており入手している時価が売買可能な価格とは考えられないこと。
- ・当ファンドの評価価格について、本来であれば保有する個別銘柄ごとにその本来価値を評価すべきであるところ、経済情勢の急速な変化、日々変わる制裁の内容、取引や決済の停止による混乱などを勘案すると、適切な価値算定は困難とみられること。
- ・流動性リスク評価についても、現在および将来にわたって取引や決済が大幅に制限される環境下では、流動性の制約を価格に反映することは妥当と考えられること。

ハ．当該事象の損益に与える影響額

2022年4月13日付けで評価価格の変更を行なった、当ファンドで実質的に組み入れているロシア株式の評価額合計は以下のように減少しました。

2022年4月12日（変更前）：635,706,006円

2022年4月13日（変更後）：9,536,246円

（ご参考）当ファンドの基準価額

2022年4月12日：15,907円

2022年4月13日：14,408円